

長岡市立科学博物館 令和3年度 児童・生徒「岩石・化石標本展」
審査講評

審査長 糸魚川フォッサマグナミュージアム 学芸員 小河原孝彦
新潟薬科大学 非常勤講師 大山 賢一

1 出品状況など

今年度の出品数は、小学校6件(4校)、中学校9件(3校)、高等学校1件(1校)の計16件(8校)で、昨年度と比較して、減少しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で屋外に出ることが難しかったかもしれませんが、制約の中でも素晴らしい標本が集まりました。

分野的には、岩石が15件、化石が1件と大きく偏りました。化石の研究には地道な作業が必要ですが、過去の地球環境を知るうえで大変重要な学問です。博物館には化石の専門家もいますので、化石に興味・関心がある人は、ぜひ博物館に相談してほしいと思います。

2 標本づくり、標本管理について

今年度も、露頭から採取した岩石標本の出品はありませんでしたが、露頭からの採取には危険が伴いますので、海岸礫や河床礫を採取することは差支えないでしょう。ただ、海岸礫は「塩抜き」をする必要がありますし、河床礫はよく洗浄して泥を落としてください。また、河床礫は程度の差こそあれ表面が風化していますので、岩石ハンマーで割って新鮮なところを観察したいものです。今年度は、海岸礫もハンマーなどで割ってある標本が多く、好ましく感じました。

なお、ハンマーで割った岩石の破断面の周囲は鋭利な峰となっていることがありますので、必ずハンマーの平らな面で叩いて潰しておいてください。

標本の大きさは、研究用とする場合は握りこぶしくらいの大きさが必要とされていますが、展示会に出品する場合は長径5～6cm程度でよいでしょう。ただし、糸魚川の海岸の石の場合は、特別な理由がなければ、これからも多くの方が石拾いを楽しめるよう、必要とする数だけの、小ぶりの石を拾うようにしましょう。

作品のテーマは、よく考えて、出品する標本とマッチするようにしましょう。また、研究テーマが先立つ場合は、それに見合う標本を出品しましょう。標本を見ることで研究テーマが理解できることが理想です。

岩石の標本箱として、自作の木箱、既製品の木製標本箱、既製品の樹脂製セクションケース、ボール紙製の昆虫標本箱などが使われています。それぞれ一長一短ありますが、標本のサイズに合わせて仕切ることができる箱が好ましいでしょう。

展示会に出品するときは、透明カバーを用意しましょう。それは、他人が触れないようにするためと、標本にホコリが積らないようにするためです。樹脂製のケースの蓋で半透明の

ものは観察の妨げとなりますので、別に透明カバーを用意してください。A3判までなら100円ショップでも売っている塩化ビニル製の硬質カードケースで充分です。

3 より良い作品をめざして

レポートは必須ではありませんが、どうしてその標本を集めたのか理由がわかると良いです。標本を観察してわかったことがレポートに書かれていると、評価が高くなります。図鑑から岩石の説明を抜き書きするときに、図鑑の説明と、自分で観察したことを分けて書くと評価が高くなります。

博物館の学芸員に同定をお願いすることもあるかもしれませんが、その場合はお礼の文章を最後に書きましょう。同定誤りの多い作品は、どうしても低く評価されます。目に付いた同定誤りには、訂正の付せんを置いておきましたので、参考にしてください。時間の関係で、すべての標本を完全にチェックすることはできませんでした。

ふたつに割った石は、片方だけ箱に収めて、もう一方は自宅で保管してください。

化繊綿は、シート状のものはよいのですが、モコモコしたものは標本が綿に隠れてしまい見えなくなってしまうので、使わないでください。

標本箱のひとつの枠の中には、標本を1個だけ入れましょう。そして、ラベルを標本1点ずつに作りましょう。ラベルは標本に付くものであって、岩石名に付くものではありません。そして、標本ひとつずつに標本番号を付けましょう。今回出品の標本の中での通し番号でもよいですし、「200826015」のように採取日と採取日ごとの通し番号にしてもよいです。

4 おわりに

標本づくりは地味な活動ですが、石の名前が分かるようになることは、その先にある研究への第一歩です。身近な石を調べることから始めて、ぜひほかの地域に旅行に行った際はその場所の石の種類についても見てください。石を見ることで、その地域の大地の成り立ちが分かります。糸魚川の石が多く出展されていましたが、それ以外の地域の石との比較をすると面白いと思います。

また来年、たくさんの岩石、化石に出合えることを楽しみにしています。